

令和3年度 全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果について

桶川市立桶川小学校

はじめにお読みください。

<調査の結果をご覧になる方へ>

各小・中学校では、全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果を、一つの資料として児童生徒一人一人の学習状況と、学校全体の学習への取組状況等を把握しています。また、学力の経年変化等、学校全体で情報を共有するとともに、調査結果の分析を通して自校の取組の成果と課題を明らかにしています。さらに、その分析に基づき、課題解決のための「学力向上プラン」を点検し、児童生徒の学力向上に係る取組の改善を図っております。



今後、成果を上げたと考えられる取組を校内でも共有し、さらなる児童生徒一人一人の学力向上に努めてまいります。

また、調査の結果とその分析、学力向上に係る取組を、保護者及び地域の皆様にお知らせし、情報を共有することを通して、学校の状況をより深く知っていただき、家庭での学習にも生かしていただくことが、児童生徒の学力向上につながると考えます。

調査の結果をお知らせするにあたり、本結果をご覧になる方々には、以下の点にご留意くださいますようお願いいたします。

- (1) 各調査の目的等について、ご理解くださるようお願いいたします。
- (2) 埼玉県学力・学習状況調査は、特に児童の伸びを見ることができる調査となっております。平均正答率等の数値だけではなく、学校で分析した結果や学力向上プランをはじめとする学校の取組とあわせてご覧ください。
- (3) 本調査で測れるのは、①調査対象の教科等学力の特定の一部分であること、②学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。

<全国学力・学習状況調査の概要>

※「令和3年度 全国学力・学習状況調査に関する実施要領」(文部科学省)より抜粋

1 調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象

小学校第6学年、原則として全児童

3 調査実施日

令和3年5月27日(木)

4 調査の内容

(国語、算数) 教科に関する調査	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校調査は、国語及び算数とする。 ・出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。 <ul style="list-style-type: none"> ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容 ・調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び算数においては、記述式の問題を一定割合で導入する。 	
	【小学校 国語・算数 各45分】	
生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査	児童生徒に対する調査	学校に対する調査
	学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 将来の夢や目標の有無、起床・就寝時間、ICTの利用状況、読書時間、家庭学習の状況など 【20分程度】	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 学力向上に向けた取組、指導方法の工夫、教育の情報化、教員研修、家庭・地域との連携の状況など

本校の調査結果の概況

小学校

＜教科に関する調査＞ は全国平均正答率を上回ったもの



国語				
学習指導要領の領域等	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
話すこと・聞くこと	3	78.9	77.5	77.8
書くこと	2	76.2	61.6	60.7
読むこと	3	61.8	46.8	47.2
言葉の特徴や使い方に関する事項	6	70.1	68.9	68.3

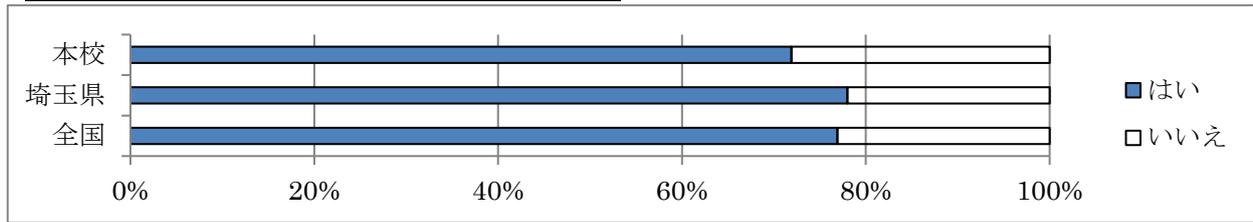
算数				
学習指導要領の領域	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
数と計算	4	68.9	61.2	63.1
図形	3	59.8	54.8	57.9
測定	3	80.5	72.5	74.8
変化と関係	3	78.5	75.8	75.9
データの活用	5	83.7	76.2	76.0

＜児童への質問紙調査＞（主なものをグラフで表示）

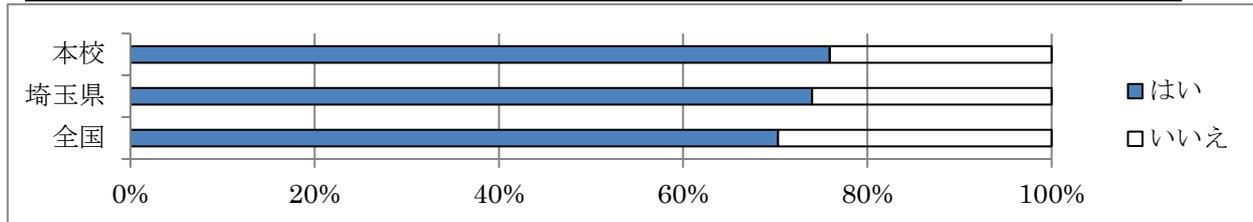
はい…そう思う、どちらかといえばそう思う

いいえ…そう思わない、どちらかといえばそう思わない

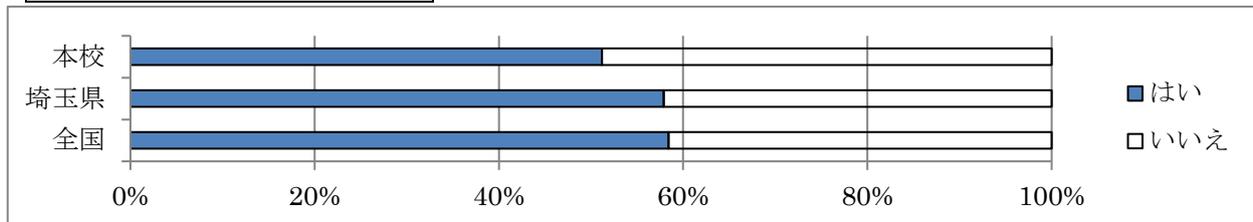
自分には良いところがあると思いますか。



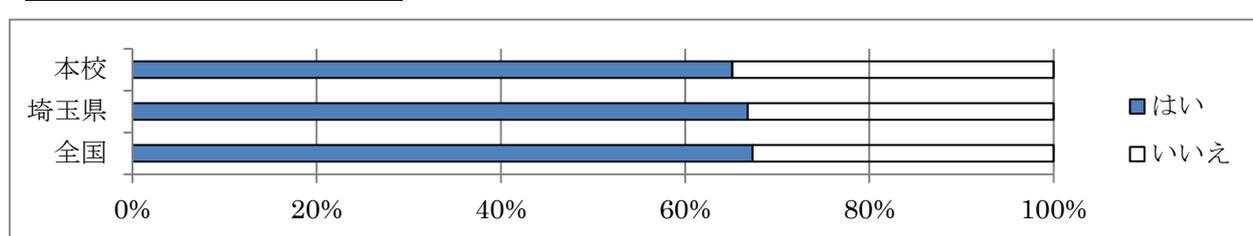
自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか。



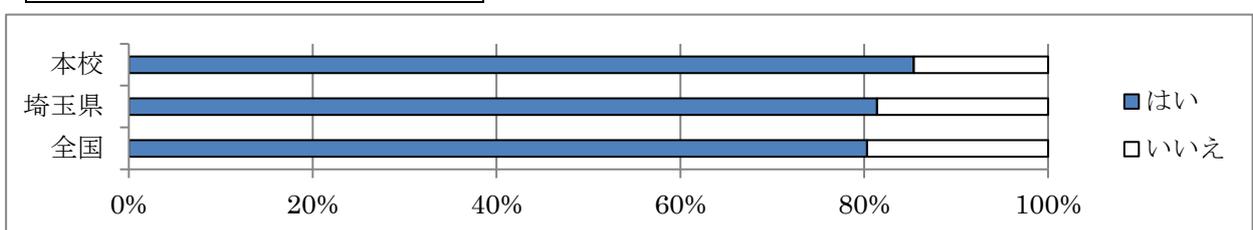
国語の勉強は好きですか。



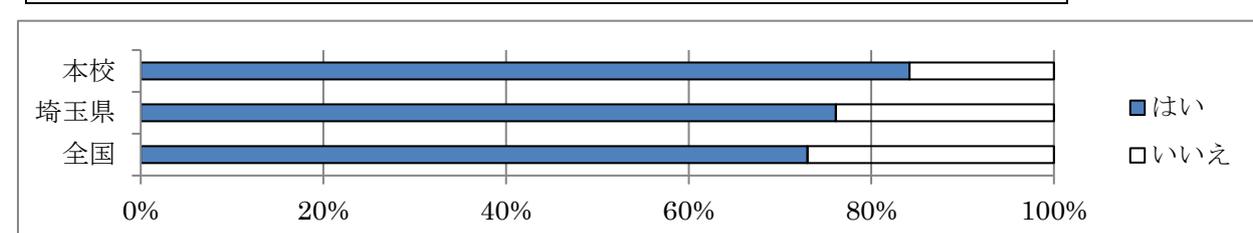
算数の勉強は好きですか。



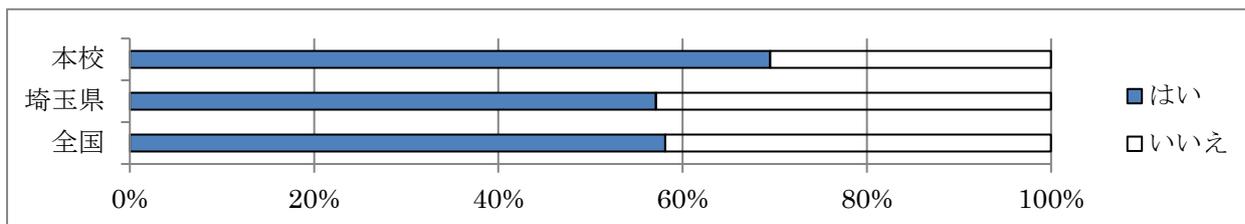
将来に夢や目標を持っていますか。



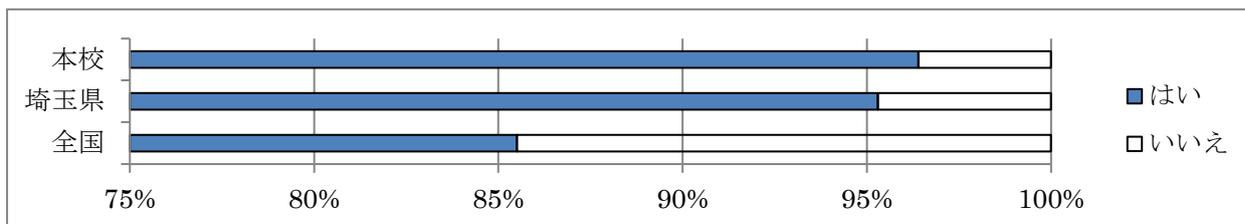
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。（学校の授業の予習や復習を含む）



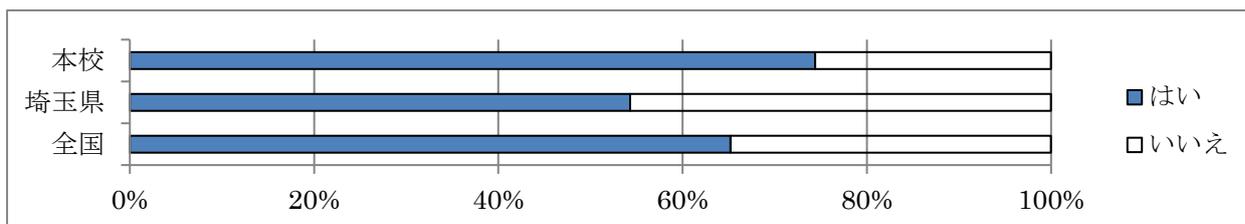
今住んでいる地域の行事に参加していますか。



友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。



新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか。



本校の調査結果の分析・考察

<国 語>

【領域別】

本校は各領域において、全ての領域において全国平均を上回る結果となっています。しかし、「話すこと・聞くこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関しては、他の領域に比べると正答率が低いものもあるため、問題によっては課題が見られます。

【問題 1 設問番号 一】

上野さんは、【スピーチメモ】を作り、【スピーチ】の練習をしています。業績を明確に伝えるために、上野さんはどのような構成で話していますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 事実と感想とを区別できるように、[中]で業績、[終わり]で自分の感想を話している。
- 2 感想を印象づけられるように、[はじめ]と[終わり]で自分の感想を話している。
- 3 二つの事実を区別できるように、[はじめ]で一つの業績、[中]でもう一つの業績を話している。
- 4 事実と感想とを関連づけられるように、[中]で二つの業績と自分の感想の両方を話している。

正答 1

<分析と課題>

「話すこと・聞くこと」の、目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考慮することができるかどうかをみる問題です。

上野さんは、津田梅子の業績を明確に伝えるための構成を考えています。その上野さんの目的を踏まえ、【スピーチメモ】【スピーチ】との練習から、事実である二つの業績と自分の感想とを区別して話す構成であることを捉える必要があります。

普段の授業から話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考える指導を重点的に行っていきます。

【問題 3 設問番号 三(1)】

丸山さんは、【文章の下書き】を読み返しています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

- (1) 丸山さんは、習っている漢字がひらがなになっていた——部ア、ウ、エを漢字に書き直すことにしました。

次の——部ウを漢字でていねいに書きましょう。

また、遊具置き場では、一輪車や竹馬が決められた所に置かれず、すみの方につみ重ねられています。

正答 積(み)

<分析と課題>

「言葉の特徴や使い方に関する事項」の、学年別漢字配当表に記されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題です。

文や文章の中で、漢字を正しく使うことに課題が見られます。他の問題に比べ、無回答率が高かったり、正答率が低かったりしたことから、知識の定着が図れていないことが考えられます。

日々の漢字練習や漢字小テストの取り組み機会を増やし、漢字の習得に繋げていきたいと考えます。

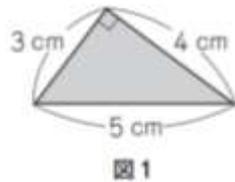
<算 数>

【領域別】

本校は各領域において、全ての領域において全国平均を上回る結果となっています。しかし、「図形」に関しては、他の領域に比べると正答率が低いものもあるため、問題によっては課題が見られます。

【問題 2 設問番号 (1)】

図1のような直角三角形があります。



- (1) 図1の直角三角形の面積は何 cm^2 ですか。
求める式と答えを書きましょう。

正答

【式】 $3 \times 4 \div 2$

【答え】 6 (cm^2)

<分析と課題>

三角形の面積の求め方について理解しているかどうかをみる問題です。

三角形の底辺や高さの関係の理解を確実にしたり、求積のためにどの部分の長さを測る必要があるかを考えたりすることで、基本図形の面積を求める公式の理解を深め、活用できるようにすることが大切です。

設問では、直角三角形の面積を求めるために、底辺と高さを捉えることが必要になります。

本校児童の傾向として、 $3 \times 5 \times 4$ または $3 \times 5 \times 4 \div 2$ の回答が見られました。高さや底辺を捉えきれていない児童がいることが分かりました。面積を求める公式の理解を深めると共に、どの部分の長さが何にあたるのかを捉えられるよう、教材教具の工夫、授業改善に力を入れていきます。

正答 ②

<分析と課題>

データを二次元の表に分類整理することができるかどうかをみる問題です。

本校では、かなり良好な結果が得られました。これは、日々の授業で数学的な考えを大切にし、数の意味を考えさせる指導を繰り返してしてきた成果だと考えられます。また、自力解決の場面で複数の考えをもって回答する習慣をつけてきたことも全国平均、埼玉県平均値を上回った要因に挙げられます。

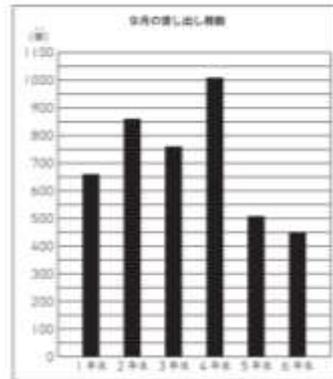
【問題 3 設問番号 (3)】

ひよりさんたちは、10月の読書委員会で、図書室の本の貸し出しの様子について話し合っています。



表は、5年生と6年生は、ほかの学年より本を借りていないのではないのでしょうか。

そこで、9月の貸し出し冊数を調べ、下のグラフに表しました。



ほかの月の貸し出し冊数も調べてみると、5年生と6年生の貸し出し冊数は、ほかの学年より少ないことがわかりました。



どうして、5年生と6年生の貸し出し冊数が少ないのでしょうか。



読書が好きな人が少ないのでしょうか。

そこで、ひよりさんたちは、5年生と6年生の189人にアンケート調査をしました。

- (1) まず、読書が好きなかどうかについて、図書室で本をよく借りているかどうかについて、2つの質問の結果に表しました。

質問1「読書が好きですか」	
はい	171人
いいえ	18人
質問2「9月に図書室で5冊以上借りましたか」	
はい	61人
いいえ	128人



読書が好きな人は171人いるのに、9月に図書室で5冊以上借りた人は61人しかいませんね。



読書が好きなのに、図書室で本をあまり借りなかった人は何人くらいいるのでしょうか。

2つの質問の結果について、下の表に整理し直すことにしました。

		9月に図書室で5冊以上借りましたか		合計
		はい	いいえ	
読書が好きですか	はい	①	②	③
	いいえ	④	⑤	⑥
合計		⑦	⑧	189

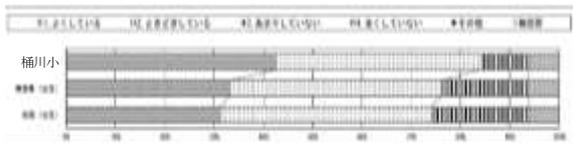
「読書が好きですか」に「はい」と答えて、「9月に図書室で5冊以上借りましたか」に「いいえ」と答えている人は、114人いることがわかりました。

「114」は、表のどこにあてはまりますか。①から⑧までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

<質問紙調査から>

(7) 将来の夢や目標を持っていますか。

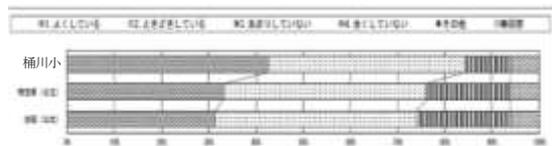
本校…85.4% 埼玉県…81.4% 全国…80.3%



上記の質問に対して持っていると考えた児童の割合が多かった要因としては、各行事に対して自分なりの目標を持たせて活動に臨ませていることが大きいと考えます。また、キャリアパスポートを書き、確認する作業を行事や学期の節目ごとに設定していることも児童の意識を向上させていると考えられます。

(17) 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

本校…84.2% 埼玉県…76.1% 全国…74.2%



本校で取り組んでいる家庭学習キャンペーンの効果が着実に表れたものと言えます。学期に一度、短縮日課の一週間に各学年で決められた時間、自分で計画を経て学習に取り組みます。

この取り組みは、令和3年度で4年目になり、保護者アンケートからも児童の学習計画力の向上が図られていることが伺えました。

(36) 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。

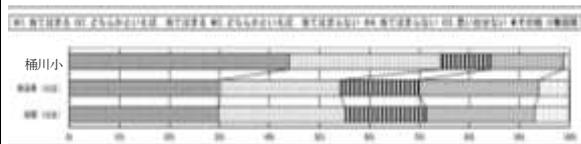
本校…96.4% 埼玉県…95.3% 全国…85.5%



本校では、令和元・2・3年度に学校課題研究として国語科で「自分の考えをもち生き生きと交流する児童の育成」を目指し、「伝えたい」を高める授業づくりを進めてきました。研究の一環として受容的な態度で友達の話や意見を聞く姿勢の向上に取り組んできた結果が表れていると考えられます。

(64) 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか。

本校…77.4% 埼玉県…54.3% 全国…65.2%



新型コロナウイルスに対する不安が全国や埼玉県の児童より大きいことが伺えます。本校では、不安を解消するために「桶っ子命を守る5つのやくそく」を決め、全職員で指導を行っています。①かならずマスクをします②せっけんをよく手を洗います③友だちとは1メートルはなれて話します④ちょうしが悪いときはすぐに先生に言います⑤友だちのいやがることは、ぜったいしません

上記の内容を徹底していくことで児童が安心して登校できる安全な学校を目指しています。

＜埼玉県学力・学習状況調査の概要＞

※「令和3年度埼玉県学力・学習状況調査（調査の概要）」（埼玉県教育委員会より抜粋）

1 調査の目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

参考：[【埼玉県学力・学習状況調査】埼玉県教育委員会ホームページ（新規ウィンドウを開きます）](https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/20150605.html)

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/20150605.html>

2 調査対象

小学校第4・5・6学年 原則として全児童

3 調査実施日

令和3年5月12日（水）

4 調査の内容

（1）教科に関する調査

小学校第4学年から第6学年まで 国語、算数

※ 学習指導要領に示された内容のうち調査する各学年の前の学年までの内容

（2）質問紙調査

学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項

本校の調査結果の概況

＜教科に関する調査＞ は県平均正答率を上回ったもの

※学力の伸びた児童の割合…前年度から学力が伸びた児童の全体に対する割合

↑↑↑↑=80%以上、↑↑↑↑=70%以上80%未満、↑↑↑=60%以上70%未満、↑↑=50%以上60%未満、↑=50%未満

国語	第4学年			第5学年			第6学年		
	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
教科の領域等									
言葉の特徴や使い方	12	76.2	71.6	13	63.4	58.0	14	61.6	61.6
情報の扱い方、我が国の言語文化	5	76.6	67.9	4	60.6	60.1	3	73.6	72.7
話すこと・聞くこと・書くこと	5	28.4	29.3	4	43.6	40.6	4	49.1	43.9
読むこと	4	44.3	41.1	9	63.7	60.3	9	62.5	55.8
※学力の伸びた児童の割合					↑↑↑↑	↑↑↑↑		↑↑↑	↑↑↑↑

算数	第4学年			第5学年			第6学年		
	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
教科の領域等									
数と計算	12	73.7	72.2	13	70.9	65.0	12	66.5	63.1
図形	6	61.2	58.3	6	67.9	60.4	7	68.3	62.3
測定	6	74.0	71.6	7	61.7	61.2	6	70.9	64.2
データの活用	6	76.3	75.2	6	60.4	56.1	7	55.6	53.1
※学力の伸びた児童の割合					↑↑↑↑	↑↑↑↑↑		↑↑↑↑↑	↑↑↑↑↑

<児童への質問紙調査> (主な結果:「規律ある態度」に関する項目の結果)

※ 達成率:「できる」「よくできる」「だいたいできる」の合計)と回答した割合

上段:本校の達成率、下段:県の達成率、 は80%以上 (%)

内容	項目	第4学年	第5学年	第6学年	
○けじめある生活ができる	1 時刻を守る				
	① 登校時刻	92.0	99.2	95.2	
		91.1	94.0	94.6	
	② 授業の開始時刻	84.0	96.2	94.6	
		90.5	93.2	94.8	
	2 身の回りの整理整頓をする				
	③ 靴そろえ	80.0	84.9	80.5	
		84.8	86.0	88.9	
④ 整理整頓	76.0	80.2	68.3		
	83.8	83.4	84.3		
○礼儀正しく人と接することができる	3 進んであいさつや返事をする				
	⑤ あいさつ	75.0	77.4	82.9	
		81.4	80.2	80.8	
	⑥ 返事	84.0	93.4	89.0	
		90.7	88.5	88.4	
	4 ていねいな言葉づかいを身に付ける				
	⑦ ていねいな言葉づかい	85.0	87.7	90.3	
		87.4	86.6	88.0	
⑧ やさしい言葉づかい	90.0	88.7	79.3		
	85.1	83.9	83.9		
○約束やきまりを守ることができる	5 学習のきまりを守る				
	⑨ 学習準備	84.0	92.5	90.2	
		80.9	85.2	85.9	
	⑩ 話を聞き発表する	74.0	74.5	70.7	
		81.3	75.4	74.5	
	6 生活のきまりを守る				
	⑪ 集団の場での態度	83.0	87.8	82.9	
		85.2	85.3	85.8	
⑫ 掃除・美化活動	91.0	91.5	86.6		
	91.1	89.5	87.7		

本校の学力向上の取組

授業における取組

★■個に応じた指導を充実させます

学力学習状況調査の結果から、今まで行ってきた個に応じた指導によって、各学力層の学力の伸びを保証できたことがわかりました。

- (1) 全学年ティーム・ティーチング（二人以上で指導する方法）・3年生以上では、少人数指導（1クラスの人数を少なくして指導する方法）を主に算数科の指導において積極的に活用し、きめ細やかな指導をします。
- (2) 高学年の算数科では、新しい単元に入る前にレディネステストを行い、児童の既習事項の理解度を確認してから指導します。
- (3) 全ての子供に、既習事項と関連させた課題解決に向けた自分のなりの考え（見通し）をもたせられるように、指導していきます。
- (4) 授業の終わりに「振り返り」の時間を必ずとり、自分の考えの変容や成長を確認したり、新たな問いや疑問をもったりすることができるようにします。

授業以外での取組

★家庭学習の取組を継続して行います（家庭学習プラン）

全国及び埼玉県学力学習状況調査の質問紙調査の結果より、本校の児童は家庭学習の習慣が身に着いていることがわかりました。昨年度まで行ってきた家庭学習の取組を今年度も継続していきます。

- (1) 保護者の方々にご協力いただき、児童の家庭学習の機会を作り出し、家庭における学習習慣を身に付けさせます。
- (2) 家庭学習の目安と取り組み方を提示し、宿題＋自主学習に取り組みます。
- (3) 学校と保護者とがサインやコメントで連絡を取り合いながら行う家庭学習（家庭学習キャンペーン）を学期に1回ずつ1週間行う取組を推進します。
（2～6年生…年に3回、1年…2学期より年に2回）

■児童の基礎・基本の力を伸ばすため、業前の時間を活用し継続して取り組みます

- (1) 全国及び埼玉県学力学習状況調査の復習のプリントを行い、国語と算数の基礎を培います。（学習タイム）
- (2) 4分間走（5月～12月）・短縄跳び4分間（1月～3月）の後、3分間のクラスごとの長縄に年間を通して継続して取り組むことで、運動の楽しさを味わわせるとともに、体力の向上を図ります。（体力タイム）
- (3) 語彙を増やすために「ことば博士」のプリントに取り組んだり、国語の力をつけるためのプリントに取り組んだりすることで、伝えるための基礎となる国語力の向上を図ります。
（国語タイム）

★…成果を上げたと考えられる取組 ■…課題を解決するための取組

令和3年度 桶川市立桶川小学校 学力向上プラン

国語科指導改善プラン

【学力向上プランにおける改善状況を把握する指標】

- 全国・埼玉県学力学習状況調査
 - ・記述式の問題形式の解答率を5%向上させる。
 - ・相手の顔を見て、はっきりあいさつをすることができますかの質問に「できる」と答えられる児童を75%にする。
- 埼玉県学力学習状況調査
 - ・国語・算数の学力を伸ばした児童の割合を各学年2段階向上させる。

現状課題

- 4年
- ・「話すこと・聞くこと、書くこと」の正答率が低い。
 - ・記述式の問題の正答率が低い。
 - ・自分の考えが伝わりやすいように工夫したり、理由を考えたりして書くことに慣れていない。
- 5・6年
- ・知識を問われる問題に対して回答できない傾向がある。
 - ・問題文の意図を正確に読み取って答えることが不十分な児童がいる。



期待される児童の姿

- 4年
- ・国語の授業で自分の考えやその理由を文章にまとめることができる。
 - ・自分の考えが伝わりやすいように工夫して、朝のスピーチで話すことができる。
- 5・6年
- ・漢字の学習で、漢字や熟語の意味も同時に覚えることができる。
 - ・主語と述語の関係・修飾語の関係などを判断できる[知識・技能]が身に付いている。
 - ・問題文を最後まで読み、問題の意図を読み取るようとしている。

学習指導における取組

- 朝の会等** ・自分の考えが伝わりやすいように工夫して、朝のスピーチで話すように意識させる。スピーチを行ったら伝わりやすかったかどうかを児童や教師がアドバイスする。
- 授業中** ・自分の考えやその理由を文章にまとめる活動を意識して取り入れる。
- ・主語と述語の関係・修飾語の関係など「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、他教科や日常生活、社会生活等で生かせるような具体的な場面をイメージさせ、思考し、判断し、表現させることを通して定着させる。
 - ・漢字学習では、テストに出てくる熟語だけでなく、他の熟語とその意味にも同時にふれさせる。
 - ・ワークシートやテストを行うときは、問題文を最後まで読み、問題の意図を読み取るように指導する。
- 振り返り** ・授業の終末で振り返りを必ず文章で記述させる。振り返りを蓄積することで、子供自身が考えの変容を確認したり、新たな問いや疑問を持ったりすることができるようにする。

国語科授業1時間プラン

学習規律: 始業のあいさつ 学習用具の準備			
導 入	・漢字等の継続学習 ・前時の振り返り	7分	・漢字の学習においては、漢字の意味にも触れる。
展 開	・学習内容を知る	30分	・本時の課題を明確にし、見通しをもたせる。
	・学習活動に取り組む 学び合い 対話的な活動を行う	33分	・教材文の音読 ・理由を明確にして、自分の考えを文章にまとめる活動 ・ねらいに即して子供の発言を切り返したり問い直したりする。
終 末	・まとめをする	5分	・自分の考えの変容を記録する
	・振り返りをする	～8分	・新たな問いや疑問を持つ
学習規律: 終業のあいさつ 学習用具の整理 次時の準備			

算数科指導改善プラン

【学力向上プランにおける改善状況を把握する指標】

- 全国・埼玉県学力学習状況調査
 - ・記述式の問題形式の解答率を5%向上させる。
 - ・相手の顔を見て、はっきりあいさつをすることができますかの質問に「できる」と答えられる児童を75%にする。
- 埼玉県学力学習状況調査
 - ・国語・算数の学力を伸ばした児童の割合を各学年2段階向上させる。

現状課題

- 4・5・6年
- ・記述式の問題の正答率が低い。
 - ・問題で示された条件に合わせて理由や解き方等を記述することに慣れていない。内容に不足があることが多い。
 - ・式や演算がどのような場面を表しているか判断できていない。
- 5年
- ・測定の領域が苦手であり、公式と結び付けられていない。
- 6年
- ・目的に応じたデータの読み取りに課題がある。

期待される児童の姿

- ・算数の基礎・基本を身に付けている。
- ・既習事項と課題を結び付けて解き方を考えている。
- ・算数の自力解決のときに、自分なりに理由や解き方等を記述することができる。
- ・式と言葉を結び付けられている。
- ・目的に応じてデータを読み取る。

学習指導における取組

- 授業中** ・全校でノートの書き方、板書の書き方について統一して指導していく。
- 問題を黒・課題を青・まとめを赤で四角く囲む。
- ＝は、横につなげずに縦にそろえて書く。
- ・必ず既習事項と関連させて、課題解決に向けた見通しを持たせる。全ての子供が自分なりの考えを持つように支援する。
 - ・毎時間必ず、自力解決の時間を設定する。問題場面を図式・表等の数学的な表現で表せるようにする。
 - ・子供の発言を切り返したり、子供の発言をつなぐことを意識して授業を行う。
 - ・子供たちがそれぞれの考えの共通点や相違点を見付けたり、問題の条件を変えて考えてみたりするなど、思考を深める場面を意図的に作り出す。
 - ・ワークシートやテストを行うときは、問題文を最後まで読み、問題の意図や条件を読み取るように指導する。
- 振り返り** ・授業の終末で必ず振り返りの時間をとる。振り返りにおいて、自分の考えた結果や過程を振り返らせ、子供自身が考えの変容を確認したり、新たな問いや疑問を持ったりすることができるようにする。

算数科授業1時間プラン

学習規律：始業のあいさつ 学習用具の準備			
導 入	・問題をつかむ	7分	・場面絵を活用する。
	・見通しをもつ		・問題は黒線で囲ませる。 ・既習事項を生かす。
展 開	・課題を確認する	3分	・課題は青線で囲ませる。
	・自力解決をする。	15分	・ノートに自分の考えや解き方を友達にわかるように文や図を使って書かせる。
	学び合い	20分	・既習事項を生かす。
	・練り上げをする。	10分	・ヒントカードを活用する。
終 末	・まとめをする。	10分	・ねらいに即して子供の発言を切り返したり問い直したりする。
	・練習問題を解く。		・発表の仕方を指導する。
	・振り返りをする。		・まとめは赤で囲ませる。
			・習熟させる。
			・自分の考えの変容を記録したり新たな問いや疑問を持たせたりする。
学習規律：終業のあいさつ 学習用具の整理 次時の準備			

話を聞き自分の考えを伝える意識を育てるための指導改善プラン

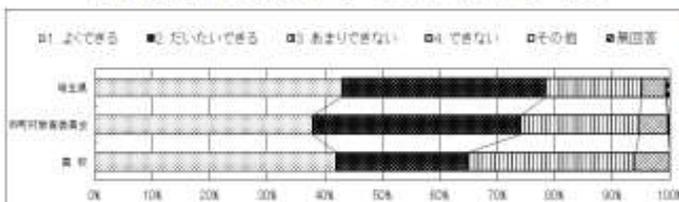
【学力向上プランにおける改善状況を把握する指標】

- 全国・埼玉県学力学習状況調査
 - ・記述式の問題形式の解答率を5%向上させる。
 - ・相手の顔を見て、はっきりあいさつをすることができますかの質問に「できる」と答えられる児童を75%にする。
- 埼玉県学力学習状況調査
 - ・国語・算数の学力を伸ばした児童の割合を各学年2段階向上させる。

現状課題

埼玉県学力学習状況調査質問紙結果より(4年生)

(28)相手の顔を見て、はっきりあいさつすることができますか
肯定的評価 65%(県平均 -13.5% 市平均 -9.1%)



期待される児童の姿

- ・自分からあいさつをできる児童。
- ・自分の気持ちや考えを伝えることができる。
- ・挑戦する気持ちをもっている。
- ・目を見てコミュニケーションをとることができる。
- ・「勉強することが楽しい」「勉強することが好きだから」と答えられる児童。

学級における取組

【難しいことでも失敗を恐れずに挑戦することができる児童】を育てるために、共通理解をもって指導していくこと

【授業中】・先生の話や友だちの発表をしっかりと聞き、自分の考えを伝える力を育てることを意識する。

- ・自分の考えを、理由をつけて発表する力・書く力を、各教科等を通して育成する。
- ・問題を解くときに、それまでに習ったことを思い出して解決する機会を設定する。

【基本的生活習慣】・学校の授業の復習や予習を、自学等を行うこととする習慣を身に付けさせる。※「宿題をする」ことではない。

- ・相手の顔を見て、自分からはっきり挨拶をすることを習慣づける。

【考え方】・なぜ勉強するのかと問われたときに、「勉強することが楽しい。」または「勉強することが好きだから。」と答えられる児童を育てる。

【勉強することが楽しい」「勉強することが好きだから」と答えられる児童を育てるため、共通理解をもって指導していくこと

- ・学習の準備を整え、授業に臨ませる。
- ・学校の授業の予習や復習をする習慣を身に付けさせる。
- ・先生の話や友だちの発表をしっかりと聞き自分の考えを伝えることができる力を育てる。
- ・自分の考えを、理由をつけて発表したり書いたりすることができる力を育てる。
- ・進んで掃除をし、学校をきれいにすることができる習慣をつける。
- ・人の集まる場所では静かにし、姿勢を正すことが当たり前だと考えられるようにする。
- ・将来の進学や自分の望む職業に就くために勉強しているという意識をもたせる。

人権感覚育成プログラムの活用

- ・「自分を価値ある存在」として肯定的に認め、受け入れることができるようにするため、1年に1回「自己尊重の感情」を育てる人権感覚育成プログラムを取り入れ、年間指導計画に明記する。
- ・該当するプログラムの無い学年は、「共感と連帯感」「礼儀」を育てる人権感覚育成プログラムを取り入れる。

キャリア・パスポートの活用

- ・進級直後、各学期末、学年末、運動会・学習発表会・林間学校・修学旅行、中学校進級の時にキャリア・パスポートを記入させる。この活動を通し、授業・行事・部活動等で心に残っていることや自分が成長できたことなどをまとめ、将来の目標とそれに向けた具体策を記入させ、自身の変化や成長を自己評価できる機会を設ける。その中で、将来の進学や自らの望む職業に就くために勉強しているという意識を醸成させる。
- ・キャリア・パスポートは、小学校入学から高校卒業までの記録を学年、校種を超えて引き継ぎ、学びの振り返りや見通しに生かすもののため、管理を学校で行い、引き継ぎは教師間で行う。また、各シートはA4版(両面印刷可)とする。

保護者・地域の皆様へ

日頃から桶川小学校の教育活動に、ご協力、ご支援いただきありがとうございます。本校の児童は、全国学力・学習状況調査、埼玉県学力・学習状況調査ともに全国平均、県平均の値を上回っております。この結果は、喜ばしい結果であります。しかし、同時に教師として身の引き締まる思いもあります。また、この結果をさらに向上できるよう、職員一同の授業力向上に努めていく所存です。

学力向上は学校だけでなく、家庭・地域の連携のもと学んだことを確認したり、生かしたりする場が確保されることで実現します。そのため、学校から発信する各種のお手紙や課題として取り組んだものに目を通していただき、学習内容をお子さんと確認していただくと助かります。これからも本校の教育活動にご理解いただき、ご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

☆家庭生活において

- ① 規則正しい生活習慣を身に付けさせましょう。
 - ・早ね、早起き、朝ごはん
 - ・時間の使い方(ゲーム・テレビ等)を家庭でのルールとして決めてください。
- ② 家庭学習に取り組ませましょう。
 - ・1年生…20分 2年生…30分 3年生…40分 4年生…50分
 - 5・6年生…60分
- ③ 持ち物を準備させましょう。(忘れ物をなくしましょう。)
 - ・授業で必要なものをしっかり用意することが学習の一步です。忘れ物をなくすために 家庭で声かけをよろしくお願いいたします。